

事務事業評価表

| | | | | |
|--------|-------------|------|-------|--------------|
| 平成14年度 | 主要事業計画対象の有無 | 有 | 電話 | 042(769)8244 |
| 担当部課名 | 土木部 | 道路管理 | 課 | システム |
| 事務事業名 | 市道認定路線再編成事業 | | 事業コード | 32320 |

1 総合計画における位置づけ

| | | | |
|-------|------|------------------|--------|
| 政策名 | 第2章 | 質の高い都市基盤の整備を進めます | 事業開始年度 |
| 基本施策名 | 第3節 | 円滑な道路交通の確保 | 8年度 |
| 施策名 | 第2施策 | 道路管理の充実 | |

2 実施根拠及び関連法令等

| |
|-----|
| 道路法 |
|-----|

3 事業概要

| | |
|--|--|
| (1) 事業の目的 | (2) 対象(誰、何) |
| 現在の市道認定路線及び認定外路線に係る問題、課題等を整理し、市民に親しみやすく、分かりやすい、効率的で機能的な道路網を確立するため路線の再編成を行い、道路管理の適正化を図る。 | 相模原市認定道路等 |
| | 対象数 約10,000路線 |
| (3) 平成13年度事業の内容 | (4) 総合計画・実施計画における概要 |
| ・「相模原市道認定路線再編成実施方針提案書」の作成 2,835千円 ・13年度道路情報管理システムデータ整備地域(130Km)の不正使用、不明路線現地調査、調書作成 | 市道認定路線の再編成事業の実施 |
| | (5) 個別計画の概要 |
| | 計画名 市道認定路線再編成事業 |
| | 計画年次 8年度～18年度 |
| | ・問題、課題等を整理し処理方針を定め、解決を図りながら路線の再編成を行い、議会に上程し一括廃止、一括認定をする。 |

4 評価指標

| | | | |
|---------|---|--|--|
| 指標名 | 再編成事業を年度計画に従って行った事務作業達成率 | | |
| 指標式 | 各年度の計画に対する達成数/事務作業数30×100(H14年度の計算式:H14年度事務作業数/4×100) | | |
| 指標設定の意図 | 事業終了時に成果が表れるため年度計画毎の総事務作業30の達成率により表す。 | | |

5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

| | 平成11年度 | 平成12年度 | 平成13年度(評価対象年度) | | 平成14年度 |
|------|---------|----------|----------------|----------|----------|
| | 実績 | 実績 | 実績 | 目標 | 目標 |
| 指標 | 10 | 10 | a 7 | b 7 | 13 |
| 指標 | | | c | d | |
| 指標 | | | e | f | |
| 事業費 | 決算(予算)額 | 18,900 | 17,430 | 2,835 | 3,000 |
| | 人員・時間数 | (1.055人) | (1.055人) | (1.091人) | (1.091人) |
| | 人件費 | 8,883 | 8,883 | 9,186 | 9,186 |
| | その他経費 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 合計 | 27,783 | 26,313 | 12,021 | 12,186 |
| 特定財源 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

6 個別評価

| | | |
|---|---|--|
| (1)達成度…目標をどれだけ達成したか | | |
| 評価 | A : 達成している (100%) B : 一部達成していない(100%> 80%) C : 達成していない (80%>) | = 、 、 の平均値 = 100.0% |
| $\frac{a}{b}$ | $\frac{6.7}{6.7} \times 100 = 100.0\%$ | $\frac{c}{d} \times 100 =$ |
| $\frac{e}{f}$ | $\times 100 =$ | |
| 理由 : | 単年度の事業計画の事務作業達成率で評価したため評価が高くなっている。 | |
| (2)必要性…時代変化に適応した事業内容か | | |
| 評価 | A : 適応している B : 一部適応していない C : 適応していない | 理由 : 効率的な道路網の確立は、道路管理の適正化に役立つだけでなく、市民からの要望等に迅速に対応できる。 |
| (3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か | | |
| 評価 | A : 妥当である B : 一部妥当でない C : 妥当でない | 理由 : 再編成の経費は担当職員1名、臨時的任用職員1名(0.091人)と委託料2,835千円であり、経済性・効率性は高い。 |
| (4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か | | |
| 評価 | A : 代替の可能性ない B : 代替の可能性低い C : 代替の可能性高い | 理由 : 道路法で市町村道はその存する市町村長が路線を認定し、管理を行うとされているため |
| (5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか | | |
| 評価 | A : 満足できる B : 一部満足できない C : 満足できない | 理由 : 再編成事業は平成18年度完了を目指して実施しているため、具体的な成果としてまだ表れない。 |
| (6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か | | |
| 評価 | A : 有効である B : 一部有効である C : 有効でない | 理由 : 円滑な道路交通の確保という上位の施策と再編成事業は密接な係わりがあり、有効である。 |

| | | |
|-------------------|--|---|
| <p>評価バランスチャート</p> | <p>成果向上の余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない | <p>説明 :</p> 年度計画に従い着実に実施する必要がある。 |
| | <p>コスト改善余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない | <p>説明 :</p> 事務量が膨大なため、短期間に集中して職員を増やし実施したほうが効率的といえる。 |

7 総合評価

| | | | |
|-------------------------------------|-----|---------------|---|
| 評価 | A ▼ | 他自治体の類似事業との比較 | |
| 今後の進め方 | | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 継続 | 説明 | 再編成事業は平成18年度に認定道路の一括廃止、一括認定をして事業終了となるが、事務量が膨大なため、年度事業計画に基づき計画的に実施する必要がある。 |
| <input type="checkbox"/> | 見直し | | |
| <input type="checkbox"/> | 廃止 | | |
| <input type="checkbox"/> | 完了 | | |

8 二次評価における変更点

| |
|--|
| |
|--|